



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'94 9月号



夏期特別展覧会
「掘り起された平塚Ⅱ」

「考古学講演会・遺跡見学会」

■この夏、平成6年度夏期特別展「掘り起された平塚Ⅱ」にあわせて、2つの関連行事が開催されました。

■8月6日に開催された「スライドでみる発掘最前線」では、教育委員会の発掘調査担当者3氏による最新の発掘調査情報と平塚の考古学研究の成果が紹介されました。スライドを見ながらの解説は、台地と平野の集落の様相を知る上で貴重な資料を提供している岡崎の山王久保遺跡と中原の厚木道遺跡がとりあげられました。また、総合的な成果紹介の中では、初期の相模国府がすでに四之宮地区にあったとの見解が示され、長年にわたる国府所在地論争の新たな展開を提起しました。

■8月21日に開催された「遺跡見学会－岡崎地区の遺跡－」では、山王久保遺跡内にある岡崎神社を起点に、上ノ入遺跡、御所ヶ谷遺跡と岡崎台地上に連なる遺跡を歩いて、現在調査中の赤坂遺跡で発掘現場の見学を行いました。発掘現場を見るのは初めてという参加者も多く、「なぜ埋まっている住居址の形が掘り当たられるのか？」など発掘調査の方法から、出土したばかりの土器や石器の解説など、詳しい説明を受けました。

写真：発掘調査中の赤坂遺跡第6地点で遺跡の説明に聞き入る参加者。（遺跡見学会）

ハッブルスペーステレスコープ

9月1日～
10月30日

ハッブルスペーステレスコープは世界でただ一つの宇宙に浮かぶ天文台です。光を集める望遠鏡の鏡の大きさは直径2.4m。地上の天文台の望遠鏡にくらべてそれほど大きくはありませんが、地球の大気の影響を受けないため望遠鏡の性能を生かし切ることができます。その分ずっと遠くまで見通せ、遠くの天体の中の小さな星の集まりも分離できるのです。

ハッブルスペーステレスコープは多くの人々が期待する中、スペースシャトル、エンデバーに載せられ、1990年4月に打ち上げされました。

しかし、この望遠鏡は大きな問題をかかえていました。それは鏡が設計通りに磨かれず、集めた星の光がにじんでしまうことでした。このことは望遠鏡の最も重要な能力が生かせないことになるため、大きな非難の声があがりました。もう一つ問題がありました。それは望遠鏡にとりつけられた太陽電池パネルが振動し、望遠鏡が揺さぶられるため、像がぶれてしまうことでした。これは地球を回る軌道上でひなたと日陰を通る度に起きるのです。

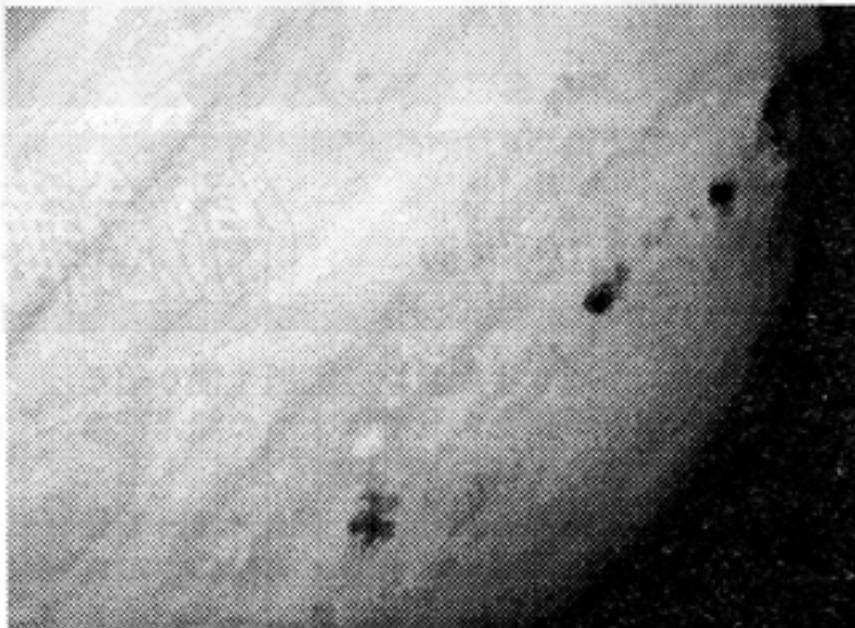
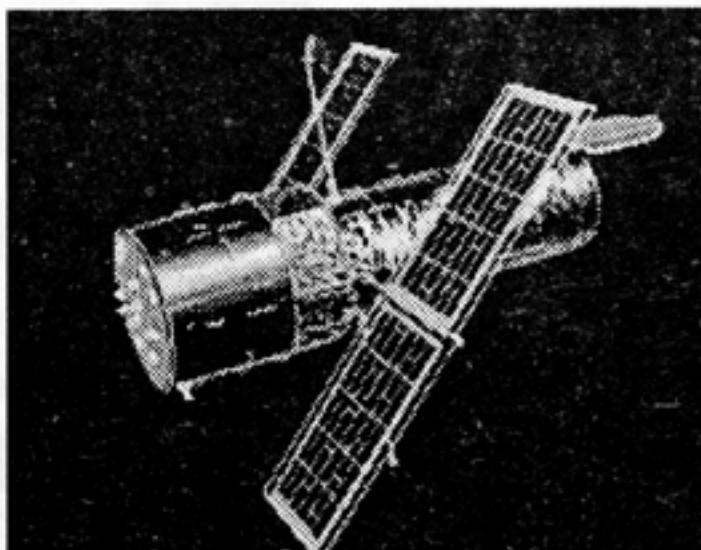
科学者たちはこれら困難な問題を一つづつ解決し、大きな成果を上げはじめました。アンシュタインが予言した重力レンズの作用、10億光年ものかなたの銀河の中心から吹き出すジェット、生まれたての星を取り巻く雲の構造、南半球の空に浮かぶ大マゼラン雲で起きた超新星爆発の残骸、太陽系の最も遠い惑星冥王星と衛星のカローンの撮影など。

1993年12月、スペースシャトルエンデバーは宇宙空間でこの望遠鏡の大規模な修理を行いました。ピンぼけと言われた鏡を補正するための補正鏡を組み込み、バタつく太陽電池パネルを取り替えるなどの作業の結果、その能力を全開にすることができるようになりました。

ハッブルスペーステレスコープは7月に起きた彗星の木星への衝突を鮮やかにとらえました。彗星核が木星表面に衝突した時に発せられた光、わき上がるキノコ雲、黒ぐろとした衝突の痕が残る木星

はすばらしい成果でした。

この望遠鏡は宇宙の広さや年齢を正確に計ることや、ブラックホールの存在を明らかにすることなど、宇宙の大きな疑問を解き明かしてくれることでしょう。



ハッブルスペーステレスコープ撮影の木星（黒く見えるところが彗星の衝突痕）

プラネットarium利用案内：《一般受付》

投影日：毎週 土・日曜日 観覧料：100円 定員：86名

投影時間：第1回目 11:00 第2回目 14:00

★途中入場はできません。

★土曜日の11:00の回は団体予約を受け付けています。詳しくは博物館までお問い合わせください。

★観覧券の発売は9:00からです。1階受付でお求めください。売り切れの場合はご了承ください。

写真でつぶやく夏の行事・体験学習

今年の夏も例年の通り、博物館主催の「体験学習」など多彩な行事が行われました。今回はその模様を写真で紹介します。



夏休み自由研究相談会



体験学習「勾玉を作ろう」



入門講座「貝化石を調べよう」<大磯町>



「貝化石を調べよう」館内での貝化石の整理



体験学習「地形模型を作ろう」



「漂着物を拾う会」<平塚海岸>

博物館カレンダー

9月の行事予定

10	土	古文書講読会 ○漂着物を拾う会
11	日	古代遺跡を探す会
13	火	博物館実習生受け入れ(至21日)
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
18	日	相模川の生き立ちを探る会 「わさび田と塩川滝・愛川町」
22	木	裏打ちの会
24	土	古文書講読会 ○自然観察ゼミナール 「カマキリ入門」
30	金	月末休館日

10月の行事予定

2	日	○自然観察会[秋の花と渡り鳥]
6	木	○自然観察会[秋の花と渡り鳥]
8	土	古文書講読会 ○漂着物を拾う会 天体観察会 「金星・水星」
14	金	○星を見る会 「土星・金星を見よう」
15	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
16	日	○自然観察ゼミナール 「カマキリ入門」 相模川の生き立ちを探る会 (予備日)
22	土	古文書講読会
23	日	古代遺跡を探す会
27	木	裏打ちの会
31	月	月末休館日

○は参加自由 ○は申込制 他は会員制

8/2~9/20 寄贈品コーナー <考古部門>
9/22~10/30 寄贈品コーナー <実習生>
7/23~9/4 プラネタリウム <夏休み期間中>
「よだかの星」
9/10~10/30 プラネタリウム
「ハッブルスペーステレスコープ」
9/13~9/21 博物館実習

◆漂着物を拾う会◆

- 海岸に打ち上げられた動物・植物・人 工物を集めて調べます。
- 開催日： 9月10日(土)
10月8日(土)
- 時間： 9:30~15:00
- 場所： 平塚海岸・博物館<科学教室>
- 参加： 自由
(花水川河口平塚側ともと集合)
- 備考： 雨天時中止

新企画◆自然観察ゼミナール◆会員募集

- テーマ：「カマキリ入門」(全3回)
- 内容：秋の代表的な昆虫であるカマキリについて、種類や卵の見分け方・行動の観察、分布の調査等を行います。
- 開催日： 9月24日(土)
10月16日(日)
12月11日(日)
- 参加： 往復はがき(1家族1枚)に住所・氏名・電話番号を書いて「自然観察ゼミナール」係まで。
- 締切： 9月14日(水)

◆会員募集「秋の自然観察会」◆

- テーマ：「秋の花と渡り鳥をたずねて」
- 場所： 秦野市弘法山
- 開催日： 10月2日(日) 6日(木)
<どちらか都合のよい日をお申し込みください>
- 参加： 往復はがき(1家族1枚)に住所・氏名・電話番号・希望日を書いて「秋の自然観察会」係まで。
- 締切： 9月21日(水)

行事に関するお問い合わせは、平塚市博物館管理係・学芸係 0463-33-5111まで。

あなたと博物館 19巻6号 通巻211号 03000 発行 平塚市博物館
〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています